

新規中小河川改修事業として 20 河川採択

33 年度中小河川改修事業の新規河川としては、最近の災害の程度、発生頻度、その他の事業との関連等を考慮して 20 河川を採択した。その総事業費は 40 億 7600 万円である（表-1 参照）。従つて中小河川改修事業の施工河川本数は継続 267 河川に新規 20 を加え、287 河川となつた。採択事由別の分類を表-2 に示す。

表-1 33 年度中小河川新規 20 河川一覧表

府県	河川	流域面積 (km ²)	計画高水 流量 m ³ /sec	現流下可 能流量 m ³ /sec	採択事業 費 1000 円	効 果	
						耕地	家屋
岩手	金 流 川	98	340	162	163 000	453町	212戸
宮城	善 見 川	51.5	350	78	80 000	370	42
秋田	岩 見 川	310	929	650	515 000	1 600	950
山形	堀 立 川	29.2	130	55	140 000	1 758	640
群馬	温 井 川	30	114	30	99 000	410	436
埼玉	中川上流	240	15	0	332 000	9 191	719
千葉	根木名川	143	150	65	230 000	8 100	1 500
新潟	矢 川	43	100	20	72 000	3 000	150
山梨	日 川	108.5	1 085	660	139 000	530	220
静岡	瀬 戸 川	180.8	1 763	1 287	390 000	1 100	7 000
福井	江 端 川	50	126	35	138 000	659	130
滋賀	田 川	35.4	130	34	271 000	3 400	1 215
京都	伊佐津川	68	730	595	91 000	150	900
兵庫	曇 川	23.9	80.3	27.5	89 000	834	3 903
島根	津和野川	105.3	500	280	180 000	280	1 545
山口	間 田 川	57	450	150	134 000	390	623
〃	柳 井 川	35.7	350	270	240 000	409	1 100
福岡	桂 川	39.7	160	70	81 000	495	390
長崎	川 棚 川	81.44	1 140	550	410 000	450	2 850
熊本	坪 井 川	141.7	500	200	282 000	425	450
計	20 河川				4 076 000		

表-2 主なる採択事由の分類

採択の主なる事由	河 川 名
最近の災害が大なるもの	岩見川 (28年) 堀立川 (31年) 瀬戸川 (29年) 桂川 (28年) 川棚川 (31年) 坪井川 (28年)
被害の頻度の高いもの	金流川、善見川、温井川、日川、江端川、田川、伊佐津川、曇川、津和野川、柳井川
直轄河川に関連のあるもの	中川上流、根木名川
その他、他事業に関連のあるもの	矢川、間田川

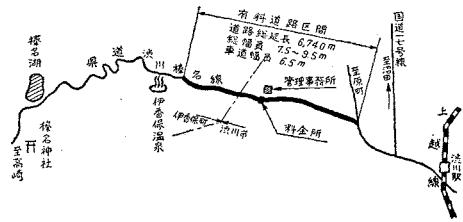
隅田川で河川汚濁対策事業始まる

近年大都市を貫流する河川の汚濁、沈泥に悩まされ、環境衛生上、舟航上支障が多いので建設省としてはその対策に苦心してきたが、33 年度より新規に河川汚濁対策事業としてとりあえず上記隅田川で総事業費 11 億 3 700 万円をもつて 220 万 m³ の沈泥土砂の処理を開始する。

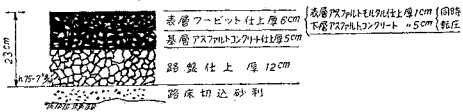
伊香保有料道路の竣工

昭和 32 年 10 月以来、日本道路公団が有料道路として改良、舗装工事を施工中であつた渋川～伊香保間がこのほど竣工した。これによつて渋川～伊香保間の所要時間は約 1/3 に短縮され、また走行費の節減によつて、この地方の建築資材その他産業開発に大きな役割を果すこ

伊香保道路位置図



舗装詳細図



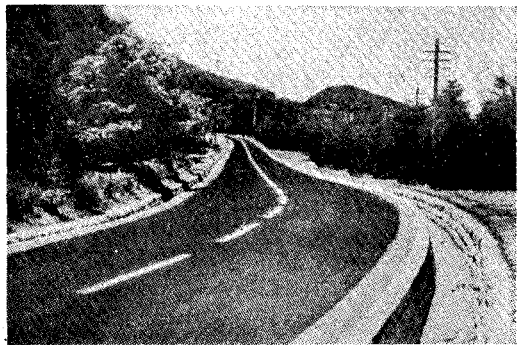
となる。

路線名：県道 渋川・榛名線 延長：6740 m
 幅員：全幅員 7.5 m、車道幅員 6.5 m、舗装幅員 7.5 m
 路面：アスファルトコンクリート舗装 厚さ 10 cm (内ブラックベース 5 cm)
 勾配：平均 6.7% 最急勾配 11.1%
 屈曲：最小半径 60 m 事業費：1 億 5 000 万円
 工期：32 年 10 月～33 年 6 月
 主要資材：セメント 827.4 t、アスファルト 825 t、砂利、砂、碎石 14 701 m³

工事開始前の路面



工事完了後の路面

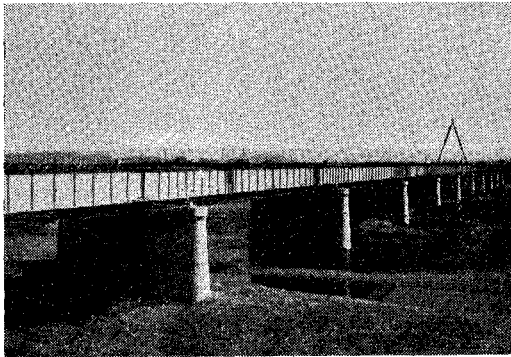


熊本県玉名橋完成

玉名橋は熊本県玉名市・両迫間の菊池川に架設される鉄橋で、山鹿・高瀬線の主要幹線道路の一環として、熊本県下の交通網完備の一翼をになうものであるが、去る6月末現場掘付を完了した。この橋梁はランガー桁のアーチ助材を除いては、吊桁、補剛桁および合成桁の全部について溶接を使用している。

形式：ランガー桁および活荷重合成桁 等級：2等橋
 全長：250.60 m (ランガー桁 3@60 m=180 m, 活荷重合成桁 3@22 m=66 m)
 有効幅員：5.5 m 総重量：360 t

完成した玉名橋

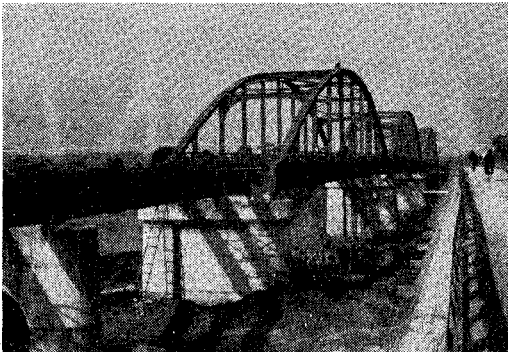


旭川市内都市計画事業 金星橋架設工事の進捗

昭和29年度以来、総事業費約2億1000万円で架設中であった旭川市内石狩川にかかる金星橋は、このほど桁の現場掘付を完了し、本年度内に全工事を完了することとなった。この橋梁の型式、主要寸法等を列記すると次のとおりである。

型式：紙接上路ゲルバー鋼板桁 橋格：1等橋
 橋長：320.0 m 支間：25.00 m+9×30.00 m+25.00 m
 有効幅：9.00 m 総重量：660 t

完成を急ぐ金星橋



日本最長の岩知志水路橋完成

岩知志水路橋（北海道日高国沙流郡日高村）の現場掘付が近く完了する。

この水路橋は北海道電力KK岩知志発電所の導水用に架設され、全長99m、構造は橋梁と鉄管を別個の構造とし、橋梁の上に鉄管を付設した従来の水路橋とは異なり、鉄管を補剛するアーチ橋と一体の構造物とし、重量の軽減をはかった点が特徴で、この種の水路橋では日本最長のものである。なおこのほか、主補剛構は鋼板を箱型に組立てた部材からなり、現場組立の最後に鋼板で密閉し雨露の侵入を防ぎ、防錆効果をもたせるよう考慮がはらわれており、工費は約8500万円である。

形式：3径間連続鉄管を補剛したランガーアーチ橋
 全長：99.00m 支間：12.00m+75.00m+12.00m
 中央支間ライズ：12.50m 鉄管内径：3.63m
 総重量：290 t (うち鉄管 117 t)

岩知志水路橋



札幌市藻岩山ロープウェイ竣工

天然記念物原始林で有名な札幌市南部にそびえる藻岩山（標高531m）に札幌市交通局によって7月5日藻岩山有料自動車道路と同時にロープウェイが完成した。このロープウェイは延長1239m、高低差362mの三線自動循環式旅客車道であつて、8人乗りの搬器が2m/secで1分間おきに連絡して発車し、10分間で山頂に到着するもので、建設費は付属施設を含めて1億1800万円である。

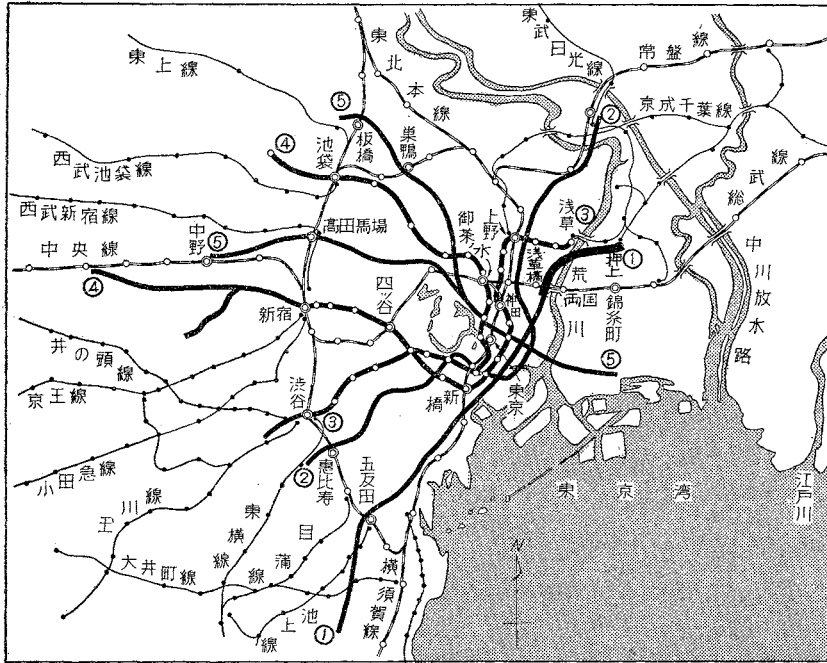
大阪市新浄水場完成

大阪市水道局が第6回水道拡張事業として昭和27年度から65億円の工費を投じて建設中の庭窪浄水場、異配水場および送配水管工事は一部残工事を除きこのほど完了、7月から待望の24万m³全量通水を開始した。新浄水場は戦後最大最新の施設をほこるもので、集中管理方式、各種作業の自動化、液体硫酸ばん土の採用など多くの新しい構想が盛りられ、本邦浄水場施設として画期的なものといえる。なお、これより大阪市水道の能力は1日約122万m³あまりとなった（口絵写真参照）。

東京地下鉄1号線建設開始

東京都市計画高速鉄道路線中第1号線が、このたび東京都によって建設せられることとなった（43巻3号ニュース欄参照）。

東京都高速鉄道網ならびに主要交通機関路線図



摘要

- ①大田区馬込～墨田区業平橋 17.3 km
 - ②目黒区上目黒～足立区千住旭町 20.9 km
 - ③目黒区上目黒～台東区浅草雷門 16.1 km
 - ④本線：杉並区荻窪3丁目～板橋区向原町 27.4 km
分岐線：中野区本町通3丁目～杉並区方南町 2.7 km
 - ⑤本線：中野区中野駅前～江東区東陽町 15.8 km
分岐線：千代田区大手町～板橋区板橋2丁目 8.4 km
- 総延長 108.6 km

た。この工事には隅田川河底トンネルの工事がふくまれ、これが工期をにぎるカギと思われる。また押上から河底トンネルに至る区間は地質が悪く、相当の難工

1号線は東京城南区馬込を起点とし、五反田、新橋、昭和通りを経て、浅草橋で国鉄総武線と交叉し、隅田川を地下で横断し押上に達する延長約 17.3 km である。1号線は通勤輸送対策の一環として建設されるもので、押上において京成電鉄、泉岳寺において京浜急行電鉄と連絡し相互に直通運転を行なうものである。

第1期工事は押上から浅草橋に至る 3.4 km の区間でこの間押上、浅草橋両停車場のほか浅草付近に1停車場が設置される予定であり、6月末に運輸省の認可をえ

事が予想される。

第1期工事区間の線路概況は次のとおりである。

- 軌間：1435 mm 最小曲線半径：166.06 m
- 最急勾配：30% レール重量：50 kg/m
- マクラ木：並マクラ木 2400×230×150 mm コンクリート短マクラ木 480×200×120 mm
- 方式：直流架空単線式 (1500V)
- 構築：鉄筋コンクリート箱形ラーメン構造 (全線複線地下式)
- 隅田川河底トンネル：ケーソン工法

土木学会支部所在地および支部長 (昭. 33. 6. 30 現在)

- 北海道支部 北海道札幌郡豊平町平岸村字中ノ島 北海道開発局土木試験所内 (電 札幌 (2) 4126)
支部長 榎本万里 鹿島建設KK札幌支店長
- 東北支部 仙台市北三番町124 東北地方建設局内 (電 仙台 (2) 4191)
支部長 佐藤清見 建設省東北地方建設局長
- 中部支部 名古屋市昭和区狭間町30 中部地方建設局内 (電 名古屋 (73) 2561)
支部長 梶谷薫 建設省中部地方建設局長
- 関西支部 大阪市西区土佐堀通2 近畿地方建設局内 (電 大阪 (44) 0015~0017)
支部長 石原藤次郎 京都大学教授
- 中国四国支部 広島市小町33 中国電力KK土木部内 (電 広島 (4) 0211)
支部長 庄司陸太郎 広島大学教授
- 西部支部 福岡市福岡町 運輸省博多港工事事務所内 (電 福岡 (4) 6538)
支部長 渡辺寛治 九州大学教授